



TITLE:

図書館界の動き 近畿地区国公立大学図書館協議会 第3回館長・事務(部)長連絡会議

AUTHOR(S):

---

CITATION:

図書館界の動き 近畿地区国公立大学図書館協議会 第3回館長・事務(部)長連絡会議. 静脩 1978, 15(4): 5-5

ISSUE DATE:

1978-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36822>

RIGHT:

## 近畿地区国公立大学図書館協議会 第3回館長・事務(部)長連絡会議

9月8日(金)神戸タワーサイドホテルで開催。昨年まで懇談会という名称だったが、今回から連絡会議に改めた。

最初、館長連絡会議と事務(部)長連絡会議とがそれぞれ別々にもたれた後、合同連絡会議が引き続いて行われた。

館長連絡会議では、①外国図書の円高差益に伴う価格引下げ、②転退職教官の貸出図書返却問題について意見が交され、事務(部)長連絡会議では、①外郭団体等の押売図書対策、②転退職教官の未返納図書、③パート職員による時間外開館の実施について意見が交換された。

合同連絡会議では、館長、事務(部)長双方の

連絡会議での共通事項について次のような協議が行われた。①外国図書の価格問題については、円高差益に伴う洋書価格の引き下げについて個々の大学ばかりでなく、大学全体として適正な価格で購入しようという姿勢も必要であるとの意見が述べられ、林館長が10月に開かれる国立大学図書館協議会理事会で、この問題を議題としてとり上げられるように努力するとの結論を得た。また②転退職教官の貸出図書返却問題については、各大学により貸出制度等の事情が異なっているため妙案が得られず、まず現状を把握するため、お互いに情報交換をしてはどうかということになった。

## 第52次国立七大学附属図書館協議会

10月11日～12日 大阪大学附属図書館(豊中)において開催された。第1日は第11回部課長会議、第2日は本会議が文部省学術国際局情報図書館課竹田課長補佐の出席を得て開かれた。

部課長会議では議題として外国図書・雑誌購入上の諸問題、相互協力業務担当職員の確保などについて協議が行われた。2日目の会議の協議題は次のとおりである。

- 1) 開館時間の延長計画と問題点について
- 2) 図書館部・課長の待遇改善をはかることについて
- 3) 現下、学術情報処理体制における大学図書館の役割
- 4) 相互協力ネットワークの形成について
- 5) 中央図書館における研究図書館的機能のあり方について一分館(部局)との機能分担を含め、特に資料配置とサービス体制を中心に—
- 6) 図書館必要面積の算定基準の改訂について

7) 相互協力担当要員の確保について

8) わが国学術情報流通施策と大学図書館特に国立大学附属図書館との関連について

協議の結果、要望事項として本年7月国立大学図書館協議会から「国立大学附属図書館の整備充実に関する要望書」の事項と重複するが、とくに重ねて次のことを要望することになった。

1) 相互協力業務担当職員の確保、わけでも協力の拠点とみなされる大学の図書館への早急な職員の配付を行うこと

2) 図書館必要面積の算定基準を改訂すること

3) 図書館部課長の待遇改善をはかること

なお、協議題(3)に特に関連して、学術情報処理体制における大学図書館の対応について、継続して部課長間で検討を行うことになり、このための第1回連絡会議が10月25日京都での国立大学図書館協議会理事会を機に開催された。

## 近畿地区国公立大学図書館協議会 昭和53年度主題別研究集会(法学系)

昭和53年11月24日(金)、京都大学附属図書館会議室にて開催。参加者33名(10大学)

法学系の研究集会は昨年にひきつづき2回目である。昨年は法学系図書業務に関する基本的事項